



広報

さろま



(町民大運動会年代別リレー)

1992

No. 419

9

佐呂間町民憲章

若い力をそだて、伸びゆく文化のまちをつくります。

佐呂間町長選挙

堀次郎氏が無投票で再選

九月十一日で任期満了となる佐呂間町長選挙が、八月二十五日告示され、現職の堀次郎氏以外に立候補者の届け出が無く、無投票となりました。

写真Ⅱ八月三十日開催された佐呂間町長選挙選挙会で当選決定され、春木選挙管理委員長から当選証書を受ける堀町長（同三十一日）

就任の挨拶

佐呂間町長 堀 次 郎

「誰もが住んでいてよかった
誰もが住みたくなるような
町づくりを目指して

八月二十五日告示の町長選挙において、無投票当選で再度町政を担当させていただくことになりました。町民の皆様には特段のご配慮並びにご協力をいただき、心より感謝とお礼を申し上げます。

私は、過去四年間多くの町民の皆様、そして近隣の市町村はもとより国・道・網走支庁など関係各位の皆様にご心温まるご支援をいただき、全力投球で職務に専念することができ本当に充実した四年間であったと感謝の気持ちでいっぱいであります。

私は、仕事の関係でいろいろと他の市町村へ出かける

機会がありました。どこへ行っても「佐呂間町ほど第一次産業を中心とした素晴らしい自然に恵まれた所はない」と、改めて佐呂間町の素晴らしさを認識させられました。これも偏に、百年の歴史の中で、私たちの先人が築き守ってくれた遺産であることを決して忘れてはならないと肝に銘じているところであります。

私のこの任期中に二度と訪れることのない、本町にとって最も記念すべき開基百年（平成六年）の年を町民の皆様と共に迎えられることはこの上ない喜びであります。今後実施して参ります一つひとつの事業が、次の世代を担ってくれる人たちに安心して引き継げるようなものでなければならぬと考えております。

幸いにも、本町の基幹産業であります農・林・水産業においては今年度より比較的利益の多い国・道の補助事業の採択をいただき、事業化へと取り進めることができました。これを機会に本町の基幹産業の足腰を一層強固なものにして参りたいと考えております。更に、高齢化社会における福祉行政や生涯教育の充実にも力を入れ、「誰もが住んでいてよかったと思える町」、「誰もが住みたくなるような町」そんな町づくりを目指して、初心を忘れることなく努力をして参る所存であります。

今後とも、町民の皆様の町政に対する深い理解と一層のご協力を賜りますよう、心からお願を申し上げ就任の挨拶いたします。



交通事故死ゼロ五〇〇〇日達成

「七〇〇〇日目標に向かってスタート」

町内では、昨年四月に四歳の男の子の死亡交通事故が発生して以来、八月二十六日で事故死ゼロ五〇〇日を達成しました。

本町では、昭和四十九年から交通事故死ゼロ運動が実施され、交通安全対策本部では死亡事故が起きる度に新たな目標を設定し、ゼロ日数を少しでも長く続けていこうとさまざまな運動を展開してきました。

しかしながら、昭和四十九年以降五〇〇目標を達成したのはわずかに四回、最長は昭和五十二年五月七日から昭和五十四年六月三十日までの七八六日間、最短は昭和五十七年九月二十三日から同年十一月六日まで

の四五日間となっています。今回の五〇〇日達成により、対策本部では七〇〇目標（平成五年三月十四日）を新たに設定し、交通事故絶滅に向けて街頭啓発や安全指導等の運動を行っていきます。

皆様のご協力をお願いいたします。



「尊い命」守ってください

町村別事故発生状況

(7月31日現在)

年別 町村別	発 生			死 者			傷 者		
	4	3	増減	4	3	増減	4	3	増減
遠軽町	25	44	-19	-	1	-1	28	43	-15
上湧別町	9	7	+2	-	-	-	12	8	+4
湧別町	13	11	+2	-	-	-	19	14	+5
佐呂間町	15	17	-2	-	1	-1	21	20	+1
生田原町	7	4	+3	-	-	-	12	5	+7
丸瀬布町	2	6	-4	-	-	-	2	8	-6
白滝村	3	1	+2	-	-	-	3	1	+2
計	74	90	-16	-	2	-2	97	99	-2

交通事故絶滅を誓う

「交通安全住民大会」

住民自らが交通安全意識を高めようと、九月四日、町体育館で「'92さるま町交通安全住民大会」(実行委員会主催)が、町民約五百名と北海道警察音楽隊、カラーガード隊が参加して行われました。

大会に先立ち、本町が八月二十六日で交通事故死ゼロ五〇〇日を達成したことにより、北海道交通安全推進委員会から表彰されました。

大会では、実行委員長(堀町長)の挨拶、網走支庁長及び遠軽警察署長から祝辞があった後、児童・生徒婦人、老人、ドライバー、一般町民を代表して佐呂間中学校生徒会々長前田祐作君が「人々を苦しめる交通事故は絶対に無くさなければなりません。僕たち中学生も交通ルールを守り、交通事故絶滅に向けて一層の



交通安全宣言する前田君



カラーガード隊によるドリル演奏

努力をしていくことを誓います。」と宣言文を読み上げました。

この後、北海道警察音楽隊と佐中吹奏楽部・佐高吹奏楽局合わせて百名による合同演奏会と、カラーガード隊による旗を使つてのドリル演奏が繰り広げられました。

また、午後六時から町民センターで「音楽の夕べ」が行われ、山口幸美さん(共立)と五十嵐多恵子さん(宮前町)が生地の演奏に合わせ歌う場面もあり、来場者たちは音楽隊の迫力ある演奏とカラーガード隊の華麗な演技を堪能しました。

運動会

「市民大運動会」が行われました。
各自治会ごと14チーム約1,800人
を繰り広げました。
住チームが優勝しました。



▲優勝(?)を目指しての入場行進



▶「タイミングを合わせて」



▲「ユーモアたっぷりの宣誓でした」



▶「よし勝った...」



▼「ゴールまでガンバレ!」



第14回 町民大

8月23日、町総合グラウンド「第14回町民大会」当日は、絶好の運動会日よりとなが参加し、各種目に熱のこもった戦い。結果は、総合・綱引きともに西宮市が優勝。



▲「そら、入れろ…」



▲「みんなホタテを探して…」



◀「一気に飲むわ、飲むわ」

▶「ね・ら・い・う・ち…」



▶「優勝しましたね」「うん、やったな…」



▲「どっちもどっち」

▼「急げ、急げ…」



◀「出た目の数は？」



六十歳以上の方でも

国民年金に任意加入

できます

国民年金は、二十歳から五十九歳までの方が加入する年金制度ですが、六十歳以上で六十四歳までの方も、希望すれば国民年金に「任意加入」することができます。

保険料納付期間が不足しているため、年金を受けられない方であっても、不足期間が五年以内であれば、任意加入することによって年金の受給の道が開かれることになります。

また、年金を受けるために必要な資格期間を満たしていても過去に保険料の未納期間や免除期間のある方は、任意加入して保険料を納めることによって年金額を増額することができます。

なお、厚生年金、共済年金の加入者やすでに老齢基礎年金を繰り上げて受けている方は加入できません。

加入手続きなど詳しくは、役場年金係にご相談ください。

国民年金には保険料の

免除制度があります

国民年金の第一号被保険者（農業、漁業、商業などの自営業の方等）は、収入や年齢に関係なく一か月九千七百円の保険料を納めなければなりません。

しかし、加入している途中で病気やけが、失業などにより一時的に保険料が納められない場合もあります。

このようなとき、国民年金には保険料を免除する制度があります。保険料の免除は、本人の申請に基づいて所得や家族構成などいろいろな要素を考慮したうえで認められることになります。

困ったときは未納のままにしないで、役場年金係にご相談ください。



国保一口メモ

お年寄りの医療は

老人保健で

七十歳（寝たきりの人は六十五歳）以上のお年寄りの方は、老人保健によって診療をうけることになります。

☆お医者さんのかかり方

老人保健でお医者さんにかかる場合、「保険証」と役場から交付された「老人保健の医療受給者証」を提示しなければなりません。

これは「医療受給者証」によって受診資格を、また「保険証」によって国民健康保険又は社会保険等の加入者であることを明らかにするためです。

(一)外来受診の場合

外来で診療を受ける場合は、一か月一か所の医療機関に九百円の一部負担金をその月の最初の診療日に支払います。

一か月とは、暦月を単位に計算し、一度九百円支払えばもうその月は支払う必要はありません。

(二)入院の場合

入院の場合は、一日六百円の一部負担金を入院期間中支払います。

☆いつから老人保健の

対象となるか

老人保健による医療は、七十歳の誕生日の月の翌月から開始されます。ただし、誕生日が月の初日であるときはその月から開始されます。つまり、誕生日が八月十日であれば九月一日から開始され八月一日であれば八月一日から開始されることになります。



衛生だより

毒キノコに注意

実りの秋となり、澄みきった青空のもと、自然を満喫する行楽シーズンとなりました。この時期森林でのキノコ狩を楽しむ方も多いと思います。自然の中で取れたキノコを食べるのは秋の楽しみの一つですが、キノコの見分け方は難かしく、毎年毒キノコを食用キノコと誤って食べて、食中毒になる方が少なくありません。昨年、道内では特に九月と十月の二か月に食中毒事件が発生しています。「茎が縦に裂けるのは食べられる」とか、「虫に食われているキノコは毒がない」、などという科学的根拠のない俗説や言い伝えに惑わされず、食用にできるかどうか、分からないものは食べないよう注意しましょう。



資源ゴミの再利用は

地球の資源を守る

紙類は、再利用のできる資源です。不用になった新聞や雑誌は再生紙として利用され、同じように新聞や雑誌・ダンボールに生まれ変わります。

例えば、家庭から出る新聞一年分(七十kg)をゴミ処理した場合約千六百円の費用がかかります。しかし、古紙として再利用すると一本半の立木(直径二十cm・高さ八m)を切らずにすみ、限りある地球の資源を守ることにもなります。

よみがえる古紙
生まれかわって再生紙



福祉ガイド

緊急時の不安解消のために

「高齢者緊急通報システム」を設置

佐呂間町では、九月からひとり暮らしの高齢者の方やからだの不自由な方に、急病や事故など「ものとき」にペンダントのボタンを押すと自動的に札幌の高齢者緊急情報センターに通報が入り、ボランティアの協力員や救急車がかけつけ救援を行う制度を始めました。

本年度は、持病のあるひとり暮らしの方や体の弱い方のある高齢者のみの世帯など三十一戸に緊急通報用電話機を無料で設置、また火災やガス漏れのセンサーとも連動しており、異常発生で自動的に通報されるようになっていきます。来年度からも要望に応じて順次数を増やしていく予定です。

本年度は、持病のあるひとり暮らしの方や体の弱い方のある高齢者のみの世帯など三十一戸に緊急通報用電話機を無料で設置、また火災やガス漏れのセンサーとも連動しており、異常発生で自動的に通報されるようになっていきます。来年度からも要望に応じて順次数を増やしていく予定です。

「高齢者保健福祉実態調査」にご協力を

ただいま、町内の六十五歳以上の方全員を対象に保健と福祉に関する実態調査を行っております。

この調査は、佐呂間町の「高齢者保健福祉計画」策定にあたり、高齢者の方一人ひとりの実情と問題を整理して、この計画の基礎資料とするためのものです。

調査にご協力くださるようお願いいたします。



問い合わせ先(☎二二二二三)

衛生だより
福祉ガイド
民生課衛生係
民生課社会係

安全 ラム スク 交 通



スピードダウンで 安全運転を

秋の交通安全運動展開

かけ足で秋がやって来ました。日増しに早くなる夕暮れ時、帰宅の足どりもつい急ぎがちになり、思わずスピードを出してしまいそうになります。

ドライバーは、日没が早くなり夕暮れ時は車も見えにくくなります。早目にライトをつけスピードダウンに心がけましょう。

歩行者は、夜間の外出時には明るい色の服装や夜光反射材を着用し、

横断歩道や交差点などでは安全をよく確認しましょう。

また、今年に入ってから全国の交通事故死者が七月二十三日で七千人を突破しました。七千人というところが町の人口にあと少しで追いつくうとしています。既にこれだけの人が亡くなっています。ちょっと考えみてください！

九月二十一日から三十日までの十日間「秋の交通安全運動」が全道で展開されます。悲惨な交通事故を無くすため皆さん一人ひとりが交通ルールを守り事故の防止に努めましょう。

▶平成4年交通事故発生状況

(7月末現在)

発生件数	15	(17)
死者数	0	(1)
負傷者数	21	(20)

() 内昨年同期

▶交通事故死ゼロ700日目標

達成日 平成5年3月14日
8月末現在 505日です。

▶平成3年度交通安全標語入選作品

信号は 道路をみはる けいさつさん

富士小 但木まる実

うさぎより かめをえらぼう 運転手さん

佐呂間小 鹿島 宏美

ドライバー 初心の頃を 忘れずに

若佐中 五味 康子

運転免許証更新時講習会

▼日時 十月五日(月)

簡素化講習

午後五時から

通常講習

午後六時から

▼場所 町民センター集会室

・講習は有効期限(誕生日)の一
年前から受講できます。

・更新手続きは有効期限の一月
前からできます。

受講される方は免許証・筆記用具
を持参ください。

なお、更新時講習会の会場で交通安全協会佐呂間支部の活動費(千円)の協力をお願いします。

(交通安全協会佐呂間支部)

佐呂間駐在所

基 秀博 巡査長(四十歳)



まちのお巡りさん紹介

出身：名寄市
前任地：北海道警察本部防犯部保安課(覚醒剤特捜班)

趣味：バイク(250cc)でツーリングすること

一言：「大自然に囲まれたまち」
佐呂間町へ赴任して早、五か月が経ちました。私も早く町民の方となじもうと思っていますが、驚いたのは交通事故の多さです。
これからも、町民の皆さんのご協力を得ながら一件でも事故を減らしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

交通安全スローガン 青になっても よく見てわたろう おうだんぼどう

平成四年度

林野火災予防

標語
ポスター

入選作品

《標語》

◎優秀賞

◆小学生の部

・森のマナー きちんと守ろう
山火事注意

栄小 四年 長沢耕之助

・山火事を みんなで防ごう
緑のために

佐呂間小四年 中谷 圭佑

・ちよつとした 心づかいが
火を防ぐ

仁倉小 四年 惣田 新奈

◆中学生の部

・山火事を 出すも防ぐも 私達

佐呂間中二年 前田 瑞穂

・山火事は 一人の不注意
大きな災害

佐呂間中二年 佐藤 純平

・緑の山 生かすも殺すも
あなたです

若佐中 三年 大沢久美子

《ポスター》

◎優秀賞

◆小学生の部



栄小 二年 加藤恵美子



若里小 四年 井田 留衣



若里小 六年 水戸加代美



佐呂間中三年 川上 達也



佐呂間中三年 高野 省吾



佐呂間中三年 船木 里子

◎佳作

◆小学生の部

佐呂間小三年 渡辺 晶子

栄小 六年 榊原 郁美

佐呂間小六年 久保 尚輝

◆中学生の部

佐呂間中三年 下元 浩二

佐呂間中三年 佐野菜緒子

佐呂間中三年 佐藤 考輔

まちの話題

第二十一回

サロマ湖観光まつり

八月二日、キムアネップ特設会場で「第二十一回サロマ湖観光まつり」が行われました。

当日は、あいにくの天候にもかかわらず町内外から大勢の家族連れが詰めかけ、もちひろいやサロマ湖クイズ、また外国人による飛び入りの



▲子どもたちに人気のエクシードラフトショー
▼飛び入りで行われた大道芸



大道芸などを楽しみました。中でも今年はテレビで人気の「特捜エクシードラフトショー」が公開され、戦う場面では子どもたちから「ガンバレ」と声援が飛んでいました。
また、サロマ湖の特産である北海シマエビの特売会では市価よりも安いとあって、用意された二百五十パックが十分ほどで売り切れるという盛況ぶりでした。



立派な作品ができました

サロマはばたけ子ども会(佐呂間小学校東学区)が主催する木工教室が、八月四日から六日の三日間、東区北光工務店作業所で行われました。この木工教室は、夏休みの宿題を兼ねて子どもたちに木の温もりを知ってもらおうと毎年行っているもので、今回は親子約四十名が参加しました。

子どもたちは、のこぎりやかなづちの使い方を親から教わりながら組木や木箱、本箱などを思い思いに作りました。

子どもたち手作りのまつり

第二回児童館まつり

子どもたちが自ら計画し運営も行うことによってボランティア活動の身につけてもらおうと、八月四日、「第二回児童館まつり」が佐呂間児童館で行われました。

まつりには約百名の子どもたちが集まり、スピードくじや手作りのお店コーナーの他、冒険アドベンチャーゲームと題して知恵の輪やクイズ・縄跳びなどに挑戦しました。帰りには両手いっぱい賞品を抱えた子どもいて、参加した子どもたちは夏休み的一天を十分に楽しみました。



納税貯蓄組合長会議・ 連合会総会が開催されました

八月七日、佐呂間コミュニティセンターで納税貯蓄組合長会議及び連合会総会が行われ、会議の席上で永年に亘り納税貯蓄組合長及び納税貯蓄組合役員として、貯蓄組合の発展に貢献された次の方々に表彰状と記念品が授与されました。

佐呂間町長表彰

◎十年表彰

西 喜作

(若里研盟)

◎二十年表彰

矢吹 俊治

(武十二)

納税貯蓄組合連合会表彰

松本 勉

(大成二)

吉口 正春

(仁倉中央)

第十六回

全町ソフトボール大会

八月三十日、町総合グラウンド及び佐呂間中学校グラウンドを会場に「第十六回全町ソフトボール大会」が行われました。

大会には、二十チーム約三百人が出場し、さわやかな青空のもと、選手たちははつらつしたプレーで白球を追いかけていました。

結果は次のとおりです。

優勝

西富ジャガーズ

準優勝

西富公住A

3位

西富公住B

サロマC13

名誉町民 船木長藏氏 逝く

水産業の伸展 地方自治の発展 に貢献

本町の名誉町民であります船木長藏氏(八十三歳)が、八月十四日午前八時二十二分自宅においてご逝去されました。

葬儀は、十六日富武士漁民センターでしめやかに執り行われ、町内外から大勢の方が参列し、故人のご冥福をお祈りしました。

故人の功績

故船木長藏氏は、永年に亘り本町の水産業及び地方自治の発展に貢献されました。

水産業においては、昭和二十四年四月、樺太・千島などから引き揚げて来た漁業生産者の生活の向上と安定した漁業経営を図るため、佐呂間



町に初めて漁業協同組合を発足。当時四十歳の若さで組合長に選任されました。また、本道におけるホタテ漁業の振興発展のため率先して全道的組織づくりに努め、昭和四十八年には北海道ホタテ漁業振興協会を設立し、昭和五十九年四月まで会長を務めました。昭和二十八年から昭和五十二年まで北海道漁業協同組合連合会理事及び副会長、昭和三十二年から三十六年まで網走支庁管内水産振興会会長、昭和三十四年から昭和三十六年まで北海道信用漁業協同組合連合会理事など多くの役職を歴任されました。

地方自治においては、昭和二十二年佐呂間村議会議員に初当選以来昭和五十六年まで連続当選を続け、町政の振興・発展にも大きく貢献されました。

この功績を讃え、昭和五十六年秋の叙勲で勲五等双光旭日章を受章、昭和五十八年には名誉町民の称号を受けられました。

お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

心配ごと相談所開設

◎日時及び場所

十月十六日(金)

・午前十時から十二時

若佐コミュニティセンター

・午後一時から三時

佐呂間コミュニティセンター

◎相談内容

人権・行政・心配ごと・悩みご

と・苦情など

交通遺児育成資金 貸付制度について

交通遺児等をすこやかに育成する
ために資金を無利子でお貸しします。
貸付対象者——0歳から中学校卒業

までの子ども本人

貸付申込者——子どもを扶養してい

る保護者

貸付金額

一時金

十四万三千元

貸付期間中(毎月)一万八千元

小中学校入学時(入学支度金)

貸付期間

四万円

貸付が決定した月か

ら中学校卒業の月まで

返還方法——割賦(月賦・半年賦

年賦から選択)による

二十年以内の均等払い

※申し込み及び問い合わせは、自動

車事故対策センター旭川支所(☎〇

一六六一二三―二五八五)まで

技能士の活用について

「技能士」とは、法律に基づいて

行われる技能検定(学科及び実技試

験)に合格し、特級・一級・単一等

級は労働大臣の、二級は都道府県知

事の合格証書が交付され、技能士の

称号が与えられた方々です。

皆さんが大切な仕事を頼む場合に

は、その人が技能士であるかどうか

を確かめることが、まず良い仕事を

してもらうための信用の目安になる

と思います。

技能士の事業所及び自宅には技能

士の標示板を掲げてありますので、

技能の相談等について気軽に立ち寄
ってみてください。

皆さんの身近なものを次に掲げて
みます。

建築大工・左官・塗装・とび・鉄

筋施工・板金・ブロック建築・建築

配管・サッシ施工・ガラス施工・畳

製作・和裁・印刷・内装仕上げ施工

など約百職種 of 技能士がいます。

(社)北海道技能士会

全国道路標識週間

〓十月一日から七日〓

道路標識(特に案内標識)の果た

す役割を皆さんに理解してもらい、

道路標識に対する関心を高めること

を目的とした週間です。

道路標識は、道路利用者の道しる

べとなつて交通安全を守ることが

大きな役割です。

標識は「見やすく、わかりやすく」

を目指しています。

道路標識について、ご意見・ご要望

を「標識ボックス」にお寄せください。

宛て先

〒〇〇〇 札幌市北区北八条西二丁目

北海道開発局道路維持課

「標識ボックス」係

(網走開発建設部北見道路事務所)

ぼくと わたしの作品

今月は幌岩小学校のお友だちの作
品を紹介します。

光

四年

松永ひろみ

四年

松永ひろみ

あらゆる面に気を配り、ていねい
に書くことができました。

故郷

六年

松永ちひろ

六年

松永ちひろ

全体に良くまとまった作品になり
ました。



ベビーフェイス



北 滝口 高志さん
弥生さん

長 女 春 香 ちゃん
平成3年2月18日生

みなさんこんにちは「春香（はるか）」です。

四月から佐呂間に来ました。最初、お友だちと離れてしまつて寂しかったけれど、少しづつお友だちもできて今日も元気に遊んでいます。

生まれた時から大きな病気もせず健康優良児そのものです。この元気の素は「良く食べ、良く寝て、良く遊ぶこと」じゃないかしら。親の嫌いなものでもペロリと食べてしまいます。肉でも野菜でも特に魚が大好きです。

天気の良い日は外で遊んでいます。近くに公園がないのが少し残念だけど、砂場で遊ぶのが大好きで、もう体中が日に焼けて真っ黒になっています。家の中では、縫いぐるみや積み木で遊んだり絵本を読んだりしています。中でもお気に入り

りがアンパンマンで、寝る時も一緒なんです。もともとつとお友だちが増えるといいなあーと思っていますので、街で見かけたら気軽に声をかけてください。

よろしくお願いします。



人形劇サークル「ばんぷきん」

毎年一度、図書館で行われる人形劇を楽しみに待っている子どもたちも多いことと思います。

この人形劇は、毎週土曜日ボランティアで行っている「お話し広場」の延長として、子どもたちに人形劇も楽しんでもらおうと始めたもので、会もこの春からは人形劇サークル「ばんぷきん」として正式に発足しました。

メンバーは現在十四名。



「物を作ることが好きな人、お話することが好きな人、ただ暇な人（う）」とさまざまですが、毎週水曜日児童館で和気藹藹、時には喧嘩（けんがわ）諍（わいあひ）と楽しく、制作・練習を続けています。

先日、児童館で行われた公演を見ていただき気づいたかと思いますが、今年は本格的な「棒つかい人形」に挑戦した一方で、パネルシアター・エプロンシアターと呼ばれる手軽で小さな人形劇を数多く作りました。

また、私たちは小さな子ども連れの仲間も多く、半分子どもと遊びながらの活動ですので、若いお母さんたちも興味のある方はどんどん参加してください。一緒に人形劇の世界を楽しみましょう。

（人形劇サークル「ばんぷきん」代表 尾崎仁美）



一年 矢野 優太

画用紙いっぱい描かれたゼラニウムの花の感じが良く出ています。



六年 鈴木 憲治

学校から見た風景です。色あざやかに表現できました。



ご寄付ありがとうございます

ごさいました

▼香典返しを廃して

●社会福祉協議会へ

(亡父 惣蔵さん)

愛知県 丸山 成次さん

(亡妻 花の江さん)

知来 渡部 福宣さん

(亡母 フジさん)

西富 新谷 和信さん

(亡妻 幸子さん)

幸町 織田 昇さん

(亡母 トミノさん)

富丘 穴戸 清信さん

(亡夫 長蔵さん)

富武士 船木 花子さん

(亡夫 義幸さん)

浜佐呂間 佐藤フデノさん

(亡妻 フサさん)

西富 杉森 正春さん

(亡母 テシホさん)

宮前町 西沢 輝泰さん

(亡夫 誠一さん)

富武士 藤田トシ子さん

●知来老人クラブへ

(亡父 惣蔵さん)

愛知県 丸山 成次さん

(亡妻 花の江さん)

知来 渡部 福宣さん

(亡母 フジさん)

●佐呂間老人クラブへ

西富 新谷 和信さん

(亡母 テシホさん)

宮前町 西沢 輝泰さん

●朝富老人クラブへ

朝富自治会へ

富丘 婦人部へ

(亡母 トミノさん)

富丘 穴戸 清信さん

●若佐老人クラブへ

(亡母 フジさん)

西富 新谷 和信さん

▼全快祝を廃して

●佐呂間老人クラブへ

西富 十亀 秀雄さん

●身障者福祉協会佐呂間分会へ

中園 源藤 忠嘉さん

●その他

●社会福祉協議会へ

宮前町 水上 邦夫さん

●特別養護老人ホームへ

●寄付

知来 渡部 福宣さん

朝日 近藤 義光さん

富丘 穴戸 清信さん

留辺薬町 橘 保治さん

愛知県 丸山 成次さん

▲寄贈

永代町 星 勇喜さん

●町立図書館へ

宮前町 金子 裕司さん

西富 徳永 良行さん

お知らせ

本年度から家庭用生ゴミ処理容器の購入について、代金の一部助成を実施していますが、8月末をもって予定数に達しましたので本年度は打ち切らせていただきます。

なお、明年度も実施したいと思っておりますので、その時期になりましたら広報等にてお知らせします。

(役場民生課衛生係)

今月の納税は

～納期 9月30日～

国民健康保険税(2期)

国民年金保険料(毎月)

です

忘れずに納めましょう

私たちのまち

人口	7,764	(前月比 -7)
男	3,730	(-6)
女	4,034	(-1)
世帯数	2,523	(-3)

7月31日現在

編集後記

「表紙から：町民大運動会年代別リレー(男子)。コーナーを回って最後の直線での勝負へと挑む選手たち。みんなチームのためにと一位目指して力走しました。」
♪：すっかり秋の気配を感じる季節となりました。
秋という私は玉蜀黍(とうもろこし)と蜻蛉(とんぼ)を連想します。収穫の秋を迎えて食べなくなるのが「とうもろこし」で、子どものころ稲穂が実り盛り一面が「とんぼ」でいっぱいだったことを思い出します。今では、田んぼが少なくなったせいか、とんぼを見るのが珍しく思えるようになりましたね。

10月の
土曜閉庁の日
10月24日
です